

電子添文改訂のお知らせ

2024年7月 株式会社ミズホメディー

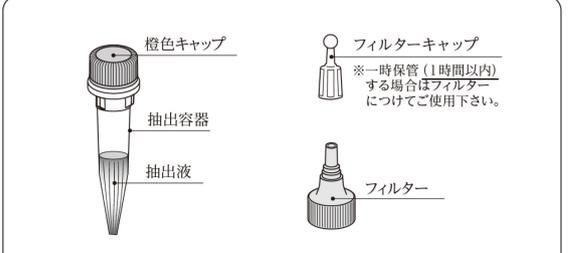
この度、弊社製品の電子添文を改訂致しましたので、下記の通りご案内申し上げます。
今後のご使用につきましては、改訂後の電子添文をご参照くださいますようお願い申し上げます。

記

クロストリジウムディフィシルキット

クイック チェイサー® CD GDH/TOX

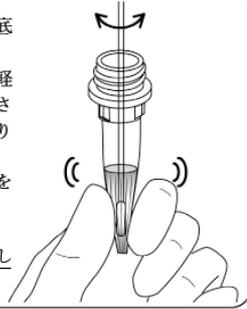
改訂部分抜粋（_____改訂）

改訂後（2024年7月改訂 第6版）	改訂前（2022年3月改訂 第5版）
<p>この電子化された添付文書をよく読んでから使用して下さい。</p>	<p>この添付文書をよく読んでから使用して下さい。</p>
<p>【全般的な注意】</p> <p>3) <u>電子添文</u>以外の使用方法については保証を致しません。</p>	<p>【全般的な注意】</p> <p>3) <u>添付文書</u>以外の使用方法については保証を致しません。</p>
<p>【形状・構造等（キットの構成）】</p> <p>2) 抽出液 界面活性剤を含む緩衝液 注)本品の抽出液は下記製品の抽出液と共通試薬です。 本品の試料は下記製品の抽出検体として使用可能です。 ・クロストリジウム・ディフィシル核酸キット スマートジーン CD トキシン B (承認番号：30300EZX00074000)</p>	<p>【形状・構造等（キットの構成）】</p> <p>2) 抽出液 界面活性剤を含む緩衝液 (新設)</p>
<p>【操作上の注意】</p> <p>4) <u>調製後の試料</u>はできる限り早く検査に使用して下さい。すぐに検査ができない場合は、検体採取からやり直して下さい。</p>	<p>【操作上の注意】</p> <p>4) <u>抽出液に懸濁してからの保管</u>は避けて下さい。</p>
<p>【用法・用量（操作方法）】</p> <p>●抽出容器各部名称</p>  <p>※フィルターキャップの注意書き変更</p>	<p>【用法・用量（操作方法）】</p> <p>●抽出容器各部名称</p>  <p>※フィルターキャップの注意書き変更</p>

●試料の調製

②検体を採取した綿球部を抽出容器の底まで入れて下さい。
抽出容器の外から綿球をはさむ様に軽く押さえ、綿棒を5回程度左右に回転させ、抽出容器の側面及び底面にこすりつけて下さい。
綿球部より液を絞り出してから綿棒を取り出して下さい。

**注)懸濁後、できる限り早く検査に使用して下さい。

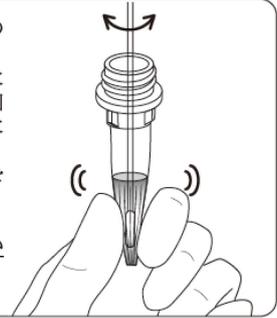


※注意書きの変更

●試料の調製

②検体を採取した綿球部を抽出容器の底まで入れて下さい。
抽出容器の外から綿球をはさむ様に軽く押さえ、綿棒を5回程度左右に回転させ、抽出容器の側面及び底面にこすりつけて下さい。
綿球部より液を絞り出してから綿棒を取り出して下さい。

注)懸濁後、1時間以上は放置しないで下さい。



※注意書きの変更

以上